

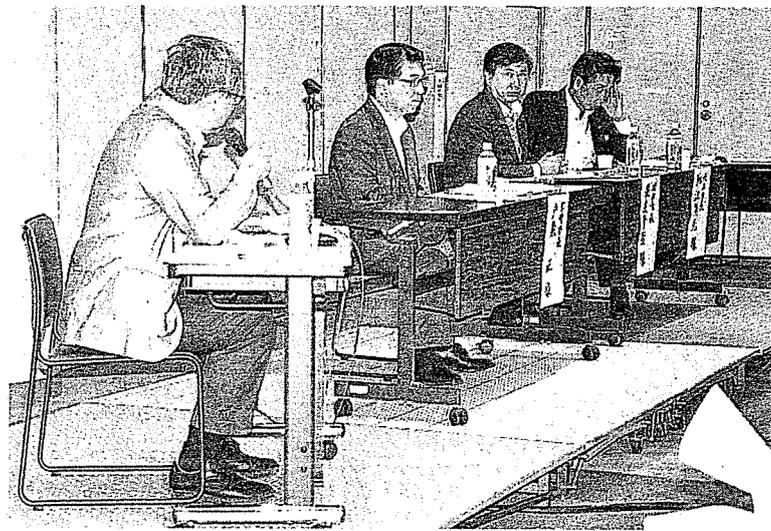
# 新聞切り抜き

回覧	会長	副会長・ 常務	事務局長	事務局 次長	部長	課長	課長補佐	課員	担当
期日	平成 28年8月26日(火曜日)				種類	朝刊・夕刊・他(ホームページ)			
新聞名	宮日・朝日・毎日・読売・西日本・日経・夕刊デ・他( )								
記事内容	社会欄								

## 高齢者福祉で意見交換 「未来創る市長会」討論会

公立大

「高齢者福祉と地方創生」をテーマに開かれた「未来の都市を創る市長の会」のパネルディスカッション



「未来の都市を創る市長の会」の第20回大会は22日、宮崎市の宮崎公立大交流センターであった。台風9号の影響で2人欠席したが、東京都調布市の長友貴樹市長、岐阜市の細江茂光市長が出席。宮崎市の戸敷正市長を交えて「高齢者福祉と地方創生」をテーマに意見を深め、宮崎市の福祉関係者ら約120人が聞き入った。

ルーテル学院大の学事顧問市川一宏教授(地域福祉) 〓

東京都が「多世代交流・共生のまちづくり」と題して講演。高齢者が家に閉じこもり孤立するケースが問題化していると指摘し、広島県の商店街の空き店舗を利用した高齢者サロンを紹介、「趣味などの活動ができる交流の場の提供が大事」と話した。また世代を超えた交流の場をつくる重要性を説いた。

パネルディスカッションでは3市長から「高齢者福祉の団体のつながりをつくること」が大切、「健康寿命を延ばすための施策が必要」などの意見が出た。

今大会は長友市長の父が宮崎市出身で、市川教授が県社会福祉協議会の経営基盤強化推進計画策定アドバイザーを務めていることなどから同市に開催を依頼して実現。同市長の会は2003年発足し現会員は8人。年1、2回会合を開いている。(中村和彦)